

東日本大震災の教訓 土木編 インフラ被害の全貌

日経コンストラクション編

05	1章 壊滅したインフラ	25	2章 東日本大震災の特徴	41	3章 津波による被害とメカニズム	75	4章 地震動による被害とメカニズム
06	全てをのみ込んだ津波	26	地震動の特徴	42	港湾構造物	76	橋
10	壊滅した町	26	地震が巨大化した要因	50	橋	86	道路
14	寸断された交通	30	津波の特徴	58	道路	88	鉄道
18	崩壊した地盤	30	大津波発生のメカニズム	60	鉄道	90	河川
22	奪われた日常生活	32	東北沿岸の津波被害	62	河川	92	ダム
		37	関東沿岸の津波被害	67	原子力発電所	96	内陸地盤
117	5章 地域別・被害の全貌	131	6章 ソフト対策の在り方	70	市街地	102	液状化
118	岩手県	132	災害発生直後の緊急対応	149	7章 識者に聞く「東日本大震災の教訓」	159	8章 復旧・復興の足取り
120	宮城県	136	減災に向けた初期対応	150	今村文彦・東北大学大学院教授 津波対策見直し、間に合わず	160	復旧の足取り
122	福島県	140	阪神大震災との比較	152	川島一彦・東京工業大学大学院教授 「津波落橋防止構造」の開発急げ	164	懸命の応急復旧
124	茨城県	144	今後の災害リスク	154	河田恵昭・関西大学社会安全学部教授 最悪の被災シナリオを描けるか	168	「くしの歯作戦」
126	千葉県			156	阪田憲次・土木学会会長 復興支援で自治体に専門家派遣	172	宮城県亘理町のがれき処理
128	北海道、青森県					176	福島第一原発
129	東京都、神奈川県					178	相次ぐ余震で復旧に支障
189	9章 地震防災関連技術	209	10章 東日本大震災の主要データ			178	どうする復興
190	被災構造物の点検法	210	地震動			178	国や自治体の描く青写真
196	地震防災のトレンド	211	津波、人的被害、想定被害額			180	奥尻島復興の教訓
202	地震防災技術一覧	212	主なインフラの被害			184	阪神大震災復興の教訓

*本書の記事中の組織名や肩書などは、原則として取材時点のもの。日経コンストラクションなどの記事掲載号は214ページに収録
*写真や資料でクレジットが表記されていないものは、原則として日経コンストラクション、日経アーキテクチュア、日経ホームビルダーのいざれかが撮影したもの

■記事掲載号

本書は書き下ろしに加え、日経コンストラクション、日経アーキテクチュアの記事を加筆、修正のうえ再録したものです

P26-29	日経コンストラクション	2011年6月13日号
	日経アーキテクチュア	2011年4月10日号
P30-39	日経コンストラクション	2011年4月11日号
P43-47	日経コンストラクション	2011年5月9日号
P51-55	日経コンストラクション	2011年5月9日号
P63-69	日経コンストラクション	2011年5月9日号
P77-83	日経コンストラクション	2011年5月9日号
P93-95	日経コンストラクション	2011年5月9日号
P97-100	日経コンストラクション	2011年5月9日号
P103-109	日経コンストラクション	2011年5月9日号
P113-116	日経コンストラクション	2011年5月9日号
P118-129	日経コンストラクション	2011年4月11日号
P132-147	日経コンストラクション	2011年4月25日号
P150-151	日経コンストラクション	2011年4月25日号
P154-155	日経コンストラクション	2011年4月25日号
P156-157	日経コンストラクション	2011年5月23日号
P163	日経コンストラクション	2011年4月11日号
P164-187	日経コンストラクション	2011年5月23日号
P190-195	日経コンストラクション	2011年5月23日号
P196-201	日経コンストラクション	2009年10月23日号
P202-207	日経コンストラクション	2011年4月25日号

東日本大震災の教訓 土木編 インフラ被害の全貌

2011年6月27日 初版第1刷発行

編者	日経コンストラクション
发行人	宮寄 清志
編集スタッフ	野中 賢
発行	日経BP社
発売	日経BPマーケティング
	〒108-8646 東京都港区白金1-17-3
アートディレクション	奥村駿正 (TSTJ inc.)
装丁・デザイン	草谷隆文/大槻智也/奥野正次郎/森翔平 (TSTJ inc.)
印刷・製本	大日本印刷株式会社

©日経BP社 2011
ISBN978-4-8222-6628-8

落丁本、乱丁本は日経BP社読者サービスセンターまで
電話 = 03-5696-1111 (平日午前9時~午後5時)
本書の無断複写・複製(コピー等)は著作権法上の例外を除き、禁じられています。購入者以外の
第三者による電子データ化及び電子書籍化は、私的使用を含め一切認められておりません。